

平成 28 年度 第 3 回環境マネジメントシステム改善委員会（メール会議）議事録

確認期間 : 平成 28 年 11 月 15 日～11 月 18 日

委員者 : 松浦 晃幸委員長, 巢山 弘介, 石川 健, 塚田 真也, 中務 明,
田中 秀和, 西村 浩二, 鈴木 修二, 門城 祐司, 川尻 秀行,
為石 勝美, 塩田 芳夫, 周藤 義男, 小木曾 博幸, 村上 響太,
小池 誠, 安達 知弘, 小泉 祥子

事務 : 渡部 博之, 百合澤 彰, 安立 陽子, 小澤 崇良, 上野 和将,
木村 千寿子

確認事項 :

1. 平成 28 年度第 2 回環境マネジメントシステム改善委員会議事録の確認

委員に対し、議事録（案）を送付し確認を依頼したところ、内容等に意見はなく、原案どおり議事録を確定した。

議 題 :

1. 島根大学における節電の取組実行計画（冬季）の策定について

委員に対し、本年度の節電取組実行計画（冬季）の案を資料 1 として提示した。

昨年度からの変更点は以下のとおりとなる旨説明を行った。

- ・夏季に引き続き、「空調設備のフィルター清掃を空調使用開始前に行うこと」を追加。
- ・ 4. 具体的な節電対策（1）空調設備 1）「フィルターの定期的な清掃（月 1 回）」は重点的に取り組んでいただくよう昨年度 4 番目に挙げていたものを 1 番目に挙げた。
- ・ 5. 今後の教育研究、職場環境改善のためのフォローアップについて（2）の項目については大学として順次実施、検討していく項目を記載した。

また、平成 28 年度の節電目標は使用電力量を基準電力量（2010 年度）比で 7%削減とした。昨年度は節電目標 6%で実績は 6.2%となり、目標を達成したことを踏まえ、更なる節電を目指した。

節電の取組実行計画（冬季）については、本委員会で承認後、ホームページへ掲載すると共に全学への通知を行い、11 月開催役員会及び 12 月開催教育研究評議会で報告並びに協力依頼をすることを説明した。

委員より、空調設備の具体的な清掃方法や、電源のオン、オフによる消費電力の違いを示した方が良い、また、節電効果の「見える化」などについて意見があった。

清掃方法等についてはエネルギー管理員が HP に記載し、節電効果については実施後検証していくこととした。

報告事項 :

1. 平成 28 年度夏季の電力使用量実績について

節電目標を基準電力量（2010 年度）比で 8%の削減としたところ、今夏の実績は 8.5%の削減となり、目標を達成した。

なお、使用電力量は 2010 年度比で 272 千 kwh の削減となり、本来であれば、3,500 千

円のコスト縮減となるところだが、電力単価が上昇しているため、2010年度比で1,400千円の増額となった旨報告した。

2. 松江キャンパス落ち葉清掃について

松江キャンパス落ち葉清掃を実施するにあたり、委員への協力依頼を行った。

3. 第2回EMS委員会での質問事項について

前回の委員会において、松江市のリサイクルステーションが学内にも設置されているが、大学と松江市の設置の違いは何かとの質問について、大学内に設置されている松江市のリサイクルステーションは近隣の方々も利用されるよう松江市からの依頼により設置されており、それとは別に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により事業者自らの責任において適正に処理することとしているため、事業所として大学独自で設置をしている旨回答した。